

令和7年度

松陰高等学校(通信制)
学校評価

令和8年3月31日

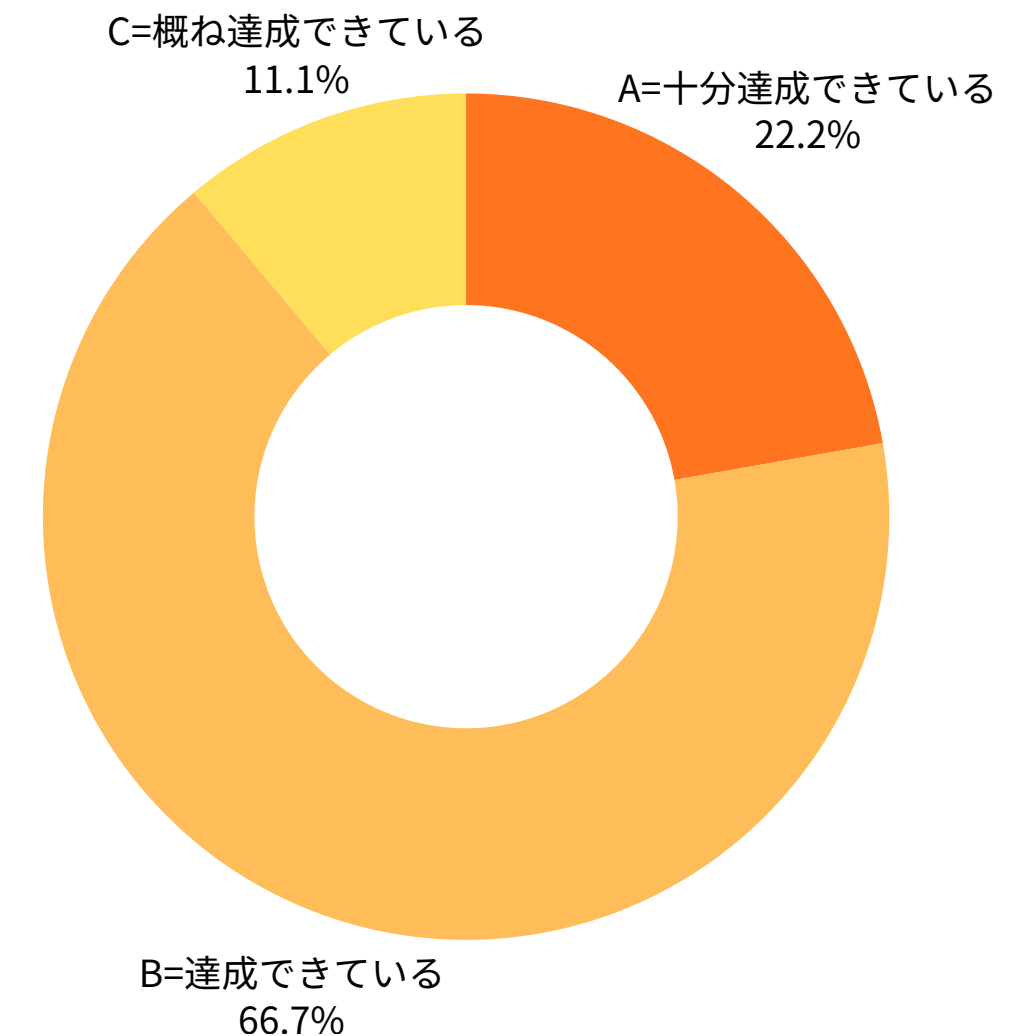
…………… [重点項目] 生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上 ……………

重点目標

- スクーリング・レポート作成・テストへの個別指導の充実と教科内容の理解
- 学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡
- 「学習の手引き」の有効な活用
- 個別面談の充実と進路実現へのサポート

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 学習状況の定期連絡等こまめに行い、単位取得に向けて保護者や生徒との連携はできていると思う。ただ学習習慣の定着や学力の向上については、なお課題があるように感じる。
- 個々に対応した取組ができている。
- 生徒数も増えており、個別の状況も多様化しているため、個別指導やスクーリングをさらに充実させていく必要がある。
- おおむね達成できているが、生徒の学習意欲を下げないような、また発達障害のある生徒に配慮したようなレポート形式がある程度求められるのではないかと思う。
- 家庭や生徒への連絡も密にしており、進捗状況においては月1回、家庭に郵送、ライン配信にて確認をしてもらい、満たない時は協力を促し、実行できた。個別面談は履修登録時に時間を取り、特に3年生には進路懇談を実施。達成度は高かった。次年度も同様の方法で行っていく。
- 学習進度表を定期的に送付し、生徒・保護者に連絡ができていた。
- 授業形式のスクーリングの実施を検討するに至った。



[重点項目] 望ましい職業観の育成

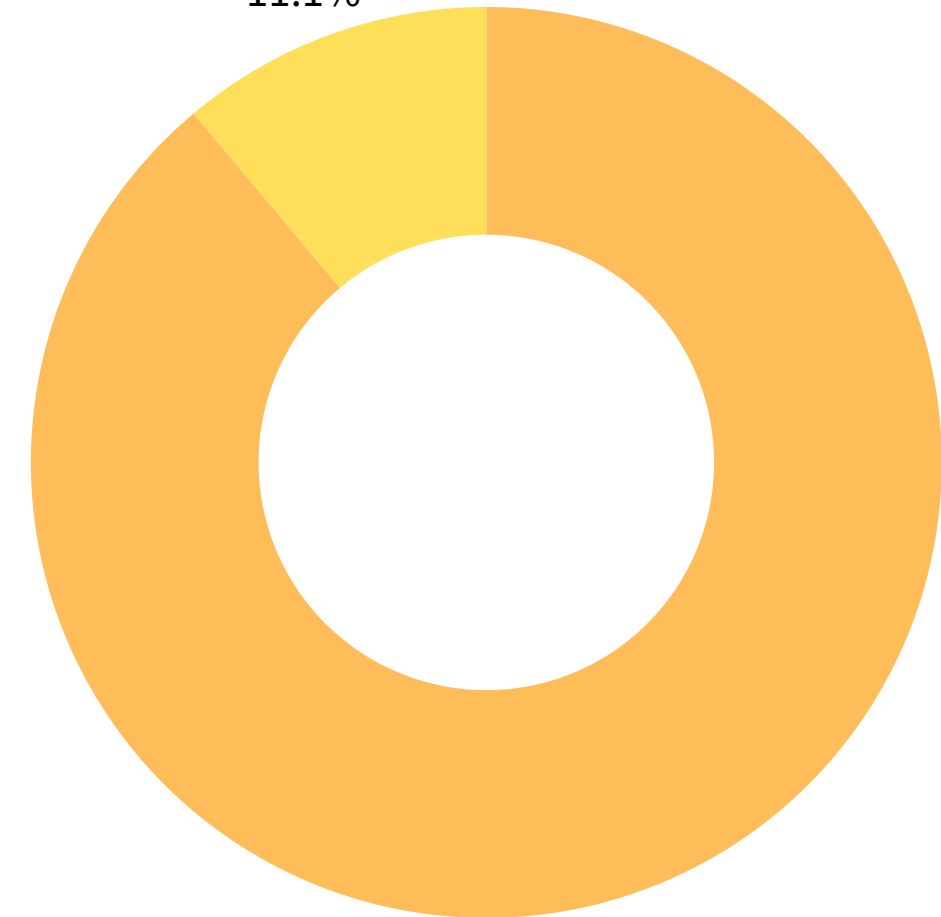
重点目標

- 一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実
- 進路ガイダンス・個別面談の質の向上

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 昨年度は進路ガイダンスや個別面談を通して生徒の進路をサポートするイベントがあったと伺っている。また学外イベントを通して進路を定める生徒もいたように思う。ただ受験勉強等のサポートは行っていないため、進学等は個々での学習が求められる。
- 適性検査等を行い指導ができています。
- 適性・適職検査を行い、その結果をもとに個別に面談を行うことで職業観の育成を図った。次年度以降も、このような適性・適職検査等を活用していきたい。
- 校舎内での進路ガイダンス・個別面談のみならず、学力不振や精神的な問題などで進学・就職が困難な生徒も今後増えてくることが予想できるため、心理士や各種相談窓口などとの連携が大きく求められるのではないかと思います。
- 進路ガイダンスや就職ガイダンスのアナウンスをし、参加を促すことができた。3年生には7月に進路懇談を実施し、方向性を確立することができた。次年度も同様に行っていく。
- 適性検査を実施した上で面談をおこなっていた。1・2年生についても進路について考える機会を設けると良いと思う。
- 個別に希望を聞くことができていた。

C=概ね達成できている
11.1%



B=達成できている
88.9%

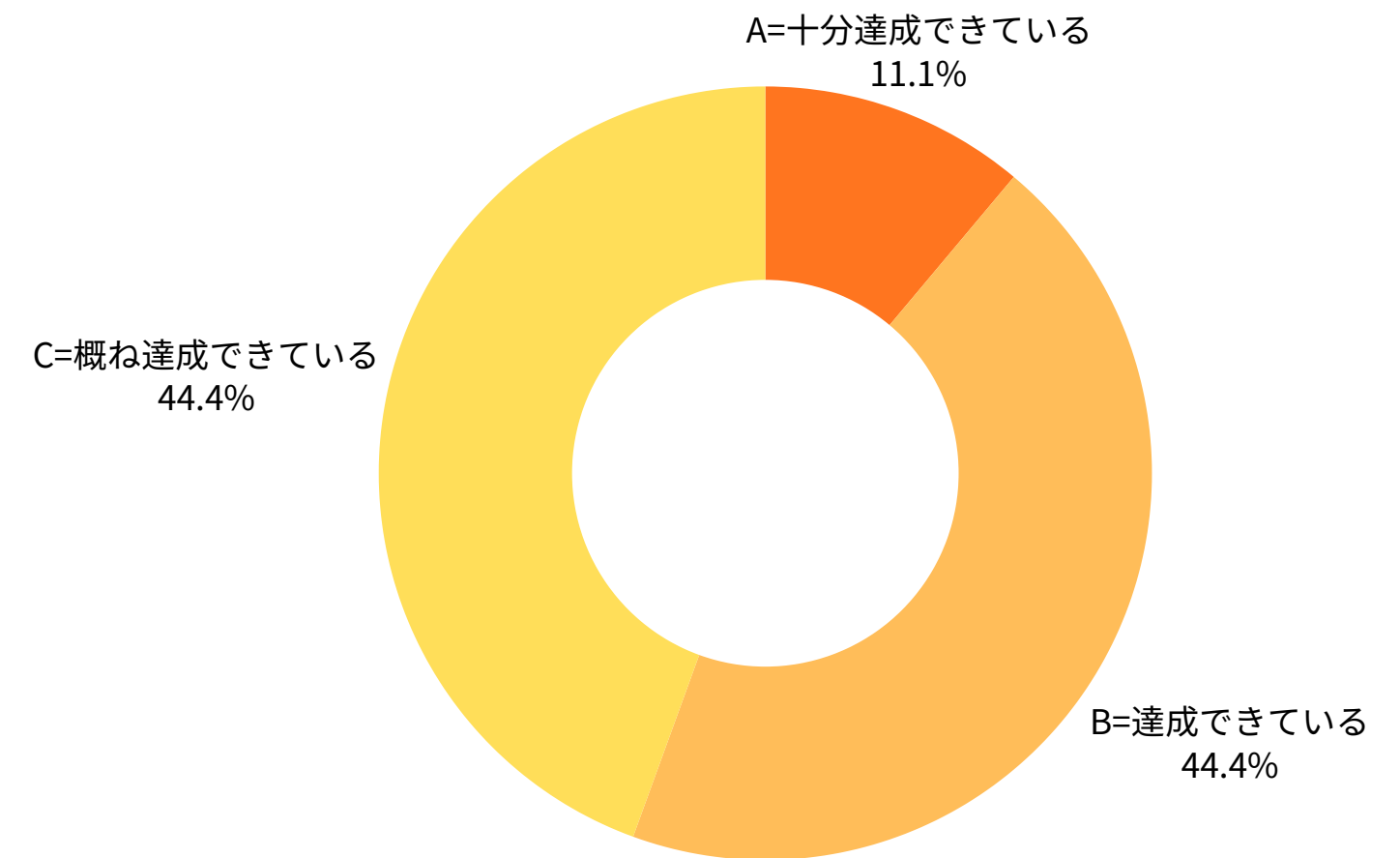
…… [重点項目] 基本的な生活習慣と規範意識の確立（学校生活の安全と安心） ……

重点目標

- 社会性と公共心の育成、規範意識の高揚
- 教職員の共通理解による生徒指導体制の充実

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 野球部に関しては生活面での指導含め全体でガイダンスを行うなど規範意識を育む取組が見受けられる。ただやはり通信制で登校日数も少ないため、私生活が不透明なところが多いようにも感じる。
- 時と場に応じた言動ができるように指導できている。
- 校外学習等で公共施設や学外での活動を通じての社会性、公共心の育成を図っていく。また教職員の生徒指導体制の更なる充実を図っていく。
- 日々のスクーリングや各種イベント参加などにおいて、生徒個人の様子を見る機会を持ち、的確に指導できていると感じる。
- 朝の会議で気になる生徒について情報交換し、関わる教職員が一致した方向性で指導できた。クラブ単位ではあるが、規律などについて話す機会を設け、実施することができた。次年度は多種多様な生徒も増えてきたので、常に情報交換や情報共有を心がけていきたい。
- 日々のスクーリングの中で場面に応じた生徒の指導ができている。
- 校外学習の拡充と、内容の充実を図ることができたと思う。



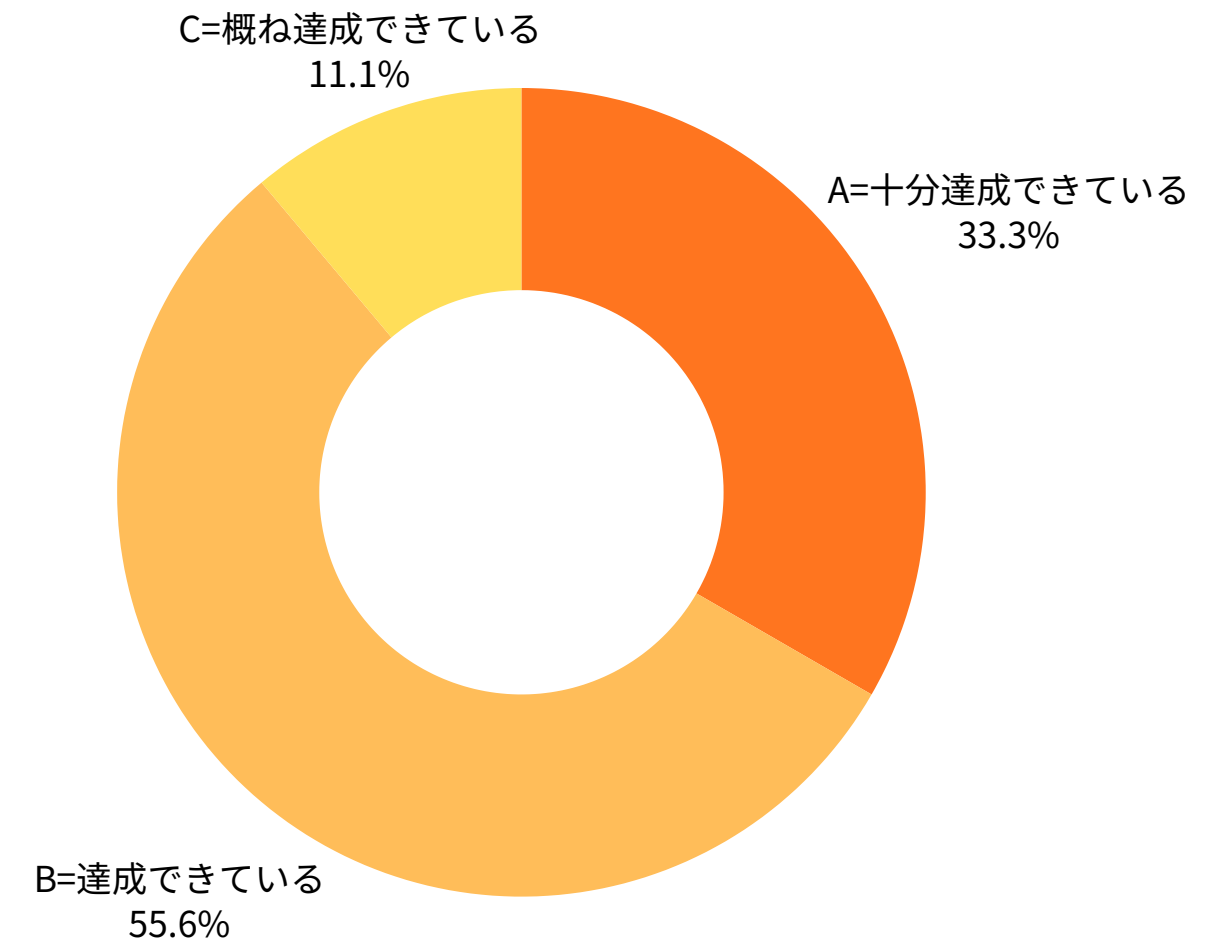
[重点項目] 健全な心身の育成(1)

重点目標

- 心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- 教育相談体制の充実
- 校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- イベントを多く設定し、生徒間や教員との交流を大切にしているように思う。またLINE等で気軽に相談してくる生徒も多く信頼関係が築けていると感じる。一方で、不登校気味な生徒に対してLINEや電話などで接点を図るしかないため、学校に来れない生徒へのサポートが難しくも感じる。
- 校外学習やボランティア清掃活動の充実を図れている。
- 校外学習やボランティア活動の内容を工夫し充実させ、豊かな学校生活を送ることができるようにしてきた。今後の課題としては、スクールカウンセラーを利用するなどの心のケアの体制の充実を図る必要がある。
- 教員としての知識・経験だけでは対応が難しい、心のケアが必要とされる生徒が増えてくる中、学校のみならず、医療機関や地域との連携体制を構築することが求められると思う。
- 地域の清掃活動等を通して奉仕精神の育成ができています。



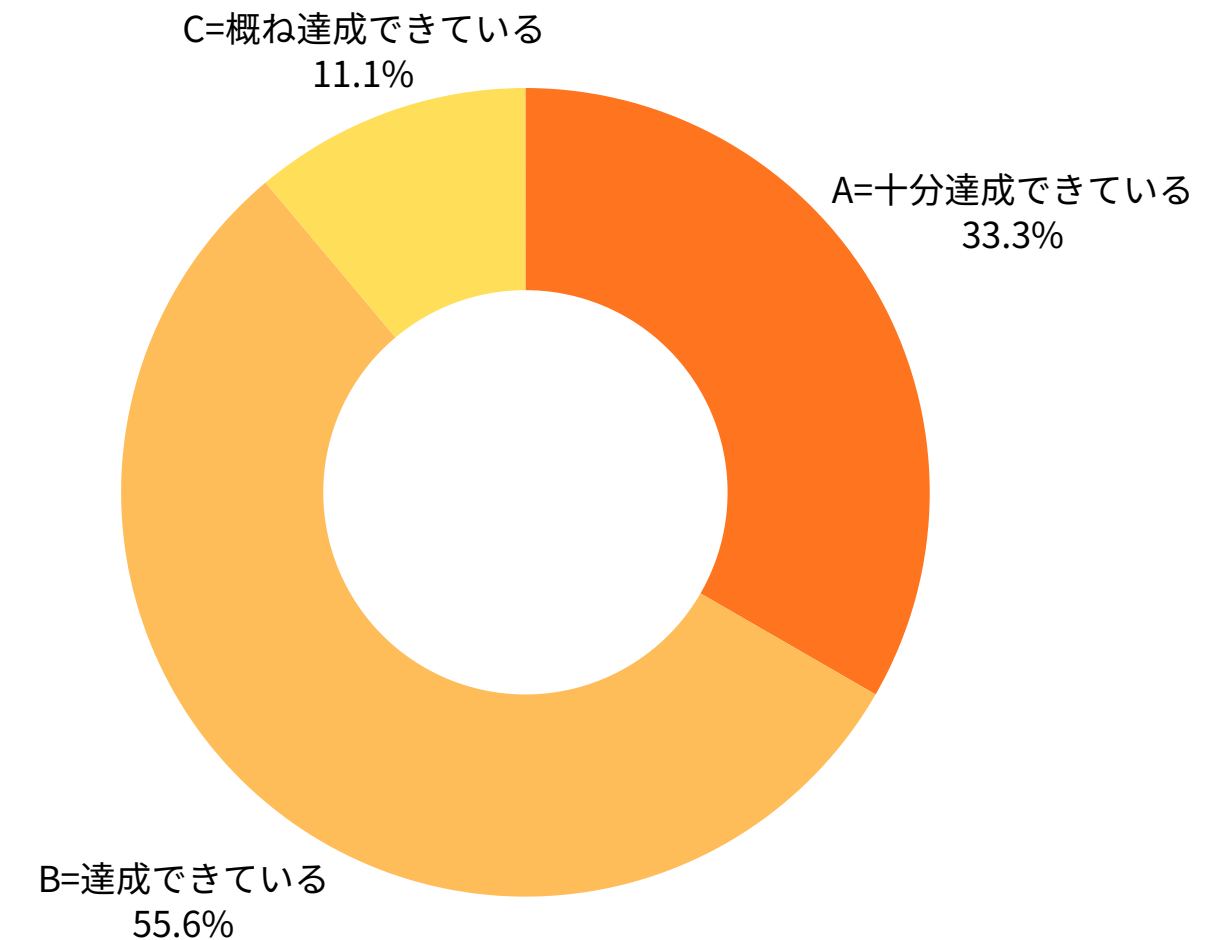
[重点項目]健全な心身の育成(2)

重点目標

- 心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- 教育相談体制の充実
- 校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 校外学習を頻繁に実施している中で、その道中や実施場所で個々と接し、色々関わる事が十二分にできていた。特に、スキー・スノボ実習の宿泊研修では、24時間生徒と接するので、様々な生徒の様子を知ることができ、今後の指導に役立つと考える。次年度もこのような校外のスクーリングを通して、生徒としっかりと関わり、もしSOSがあれば早期に対応できる体制にしたいと考える。
- 一人一人の心身の状態を理解できたと考える。



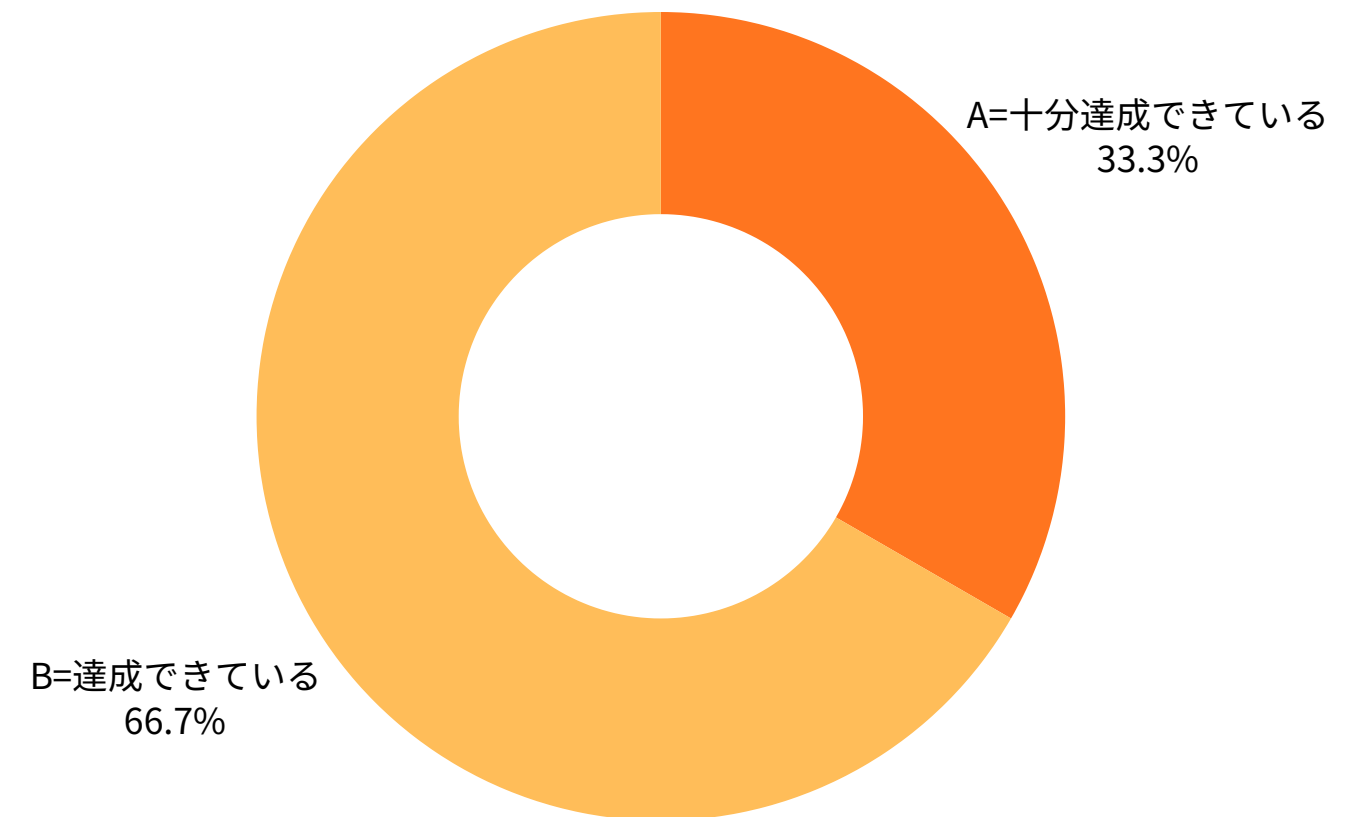
[重点項目] 保護者及び家庭との連携

重点目標

- 不登校、転編入生など多様な生徒への指導
- 生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 柔軟な授業体制もあり、中学時代不登校だった生徒も積極的に学校に来れるようになっていると感じる。また入学前に教育相談なども行い生徒一人ひとりを入学前に把握できるようになっている。
- 定期的な連絡や必要に応じての個別連絡をできている。
- 多くの転編入生が入学しており、それぞれの状況に応じた対応や指導を行ってきた。今後も個々の状況に応じた対応、指導をしていくことが課題である。
- 面倒見がいい学校、また、一人一人と向き合っ課題の解決に導くことを方針として掲げ、入学時に家庭に説明しており、その機能を充分果たすことができている。
- 全体説明会や個別相談は保護者のみの参加ではなく、生徒も交えての参加。そこできちんとこれから対応する者として話ができ、情報を得、生徒・保護者は話を聞いた上で納得して転入・編入・入学を決めてもらう方法を取っているため、在籍後はスムーズに事が進んでいた。家庭との連携もその時点から密に取っているため特に問題ないと思う。今後もこの方法で生徒募集活動を実施していく予定である。
- 登校が少ない生徒に関しては、必要に応じて適切な電話連絡ができている。
- 生徒一人一人の状況を把握しながら対応できたと思う。



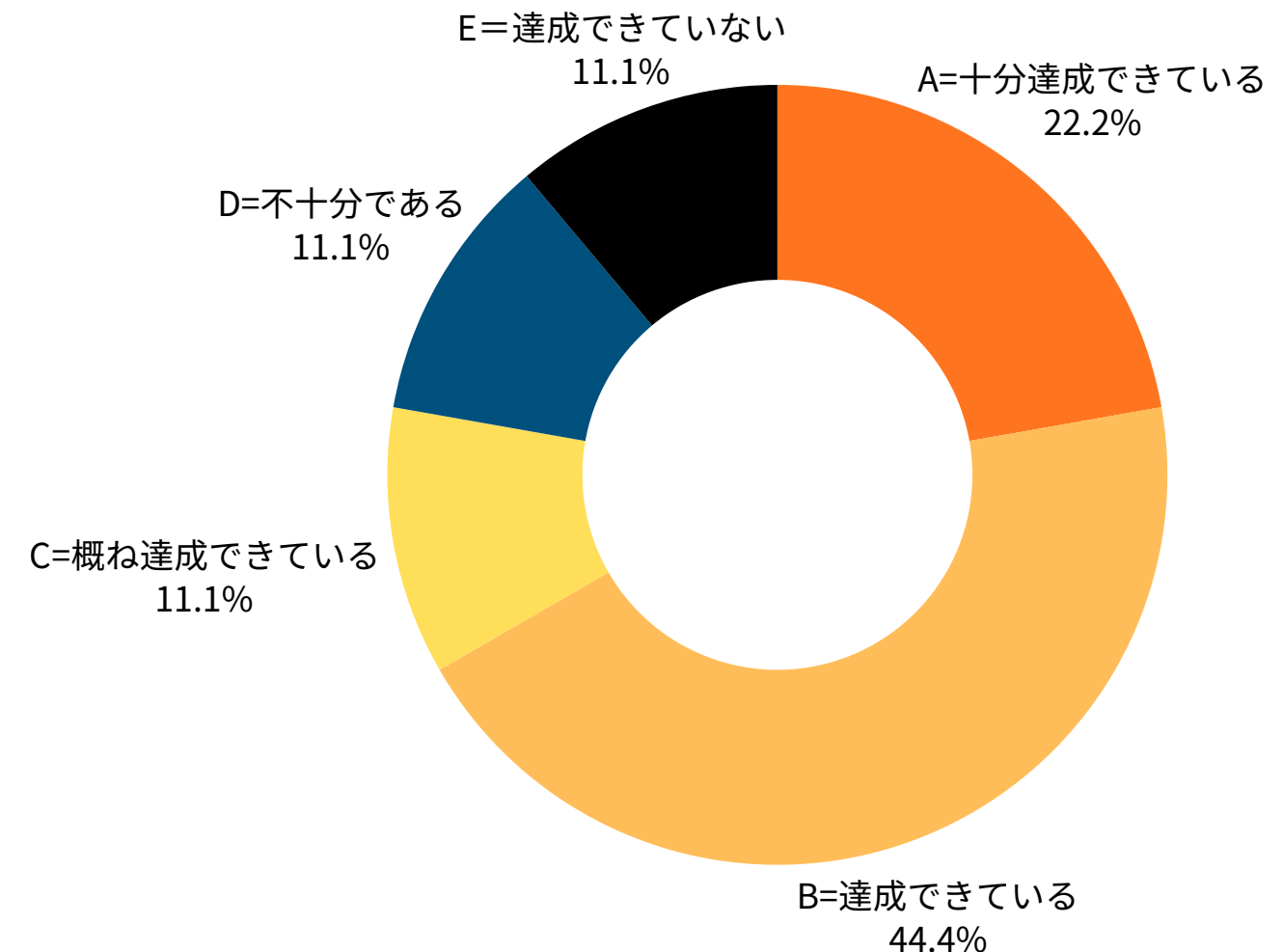
[重点項目] 校外活動への積極的な参加

重点目標

- 自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討
- 特別教育活動への自主的参加奨励
- ボランティア活動への積極的な参加奨励

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 特別活動自体も多く、参加生徒も安定しているように思う。しかし集団行動などが苦手な生徒にとっては、ハードルが高いのか活動数に差がある。
- 校外学習の充実を図ることができている。
- 様々な校外学習やボランティア活動を行ってきた。その際に、生徒には声掛けを行い、積極的な参加を促した
- 地域貢献やボランティア活動については、地域の協力や生徒に対する理解、学校側の運営状況にも関係することであるため、双方にとって有益なものとなるよう慎重に進めたい。
- 学校の所在地柄、ほぼ行えてない。
- 特別活動の商店街のごみ拾いでボランティアに参加するという機会を設け、奉仕精神の育成ができている。
- 特別活動の幅広い内容を実施できたと考える。



[評価項目] 教務

具体的目標

- 生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、学校の運営に取り組む。
- 基礎学力を定着させ、単位 修得に向けての学習の支援 を図る。

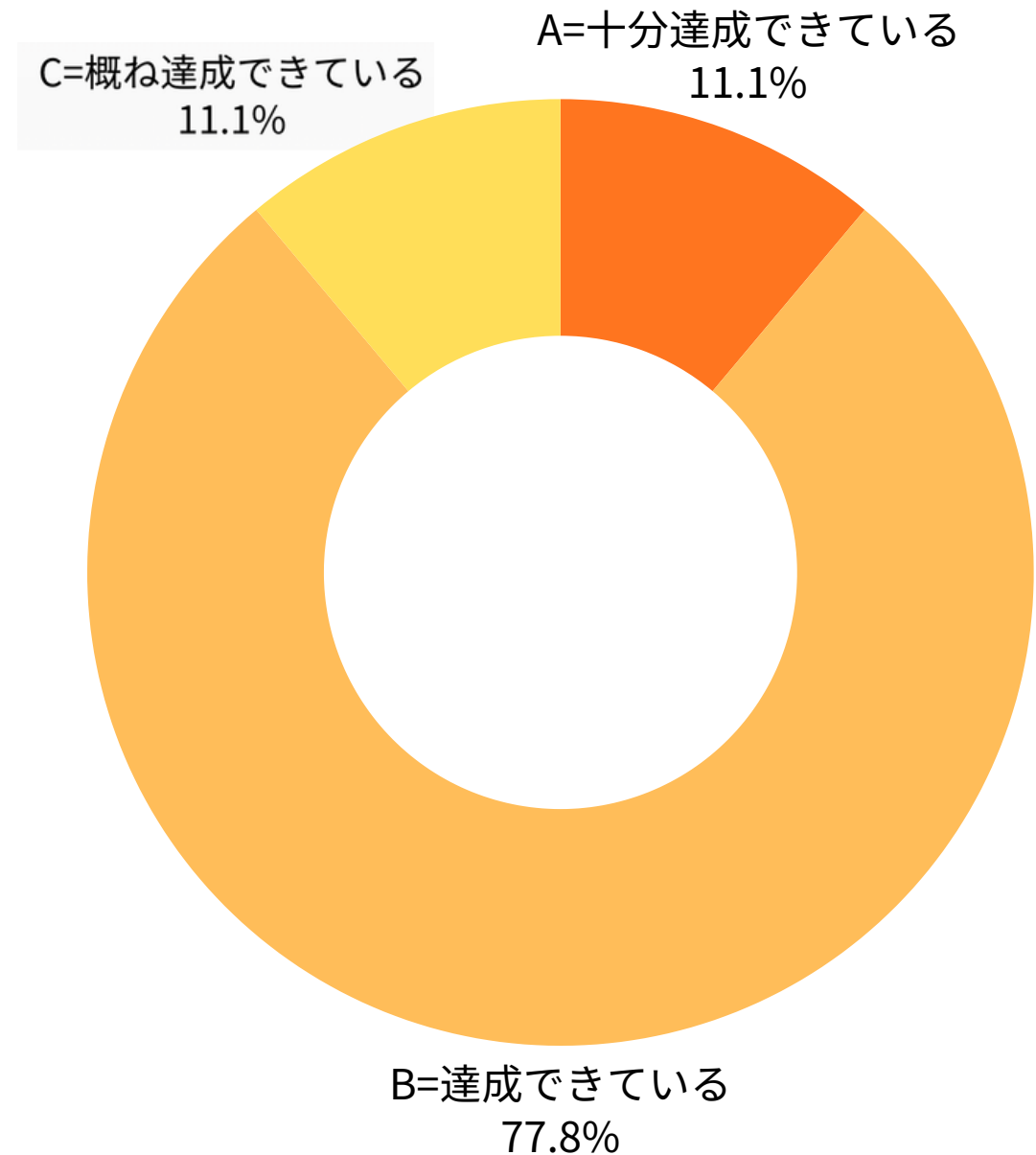
具体的方策

- 教科の年間指導計画を作成し、教科教員間の指導の連携と充実を図る。
- 「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。
- スクーリングや校外学習を含む年間指導計画を作成し、生徒が積極的に参加できるようにする。
- レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整える。
- テストに向けた勉強の支援を行う。
- 生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。
- 支援システムの効率的な処理ができるようシステムの構築を図る。
- 家庭との定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。
- 教科担当によるレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図る。

[評価項目] 教務

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 単位修得に向けて学習進度やレポートの提出状況など保護者・生徒と共有しながら進めることができている。しかし確認する習慣がついていない生徒もいるため、自立に向けての支援が必要。
- 生徒全員が目標を達成できるようにサポートができている。
- レポートの提出状況やスクーリングの出席状況を定期的に家庭に報告し、状況が芳しくない生徒には提出や出席を促している。
- 限られたレポートとスクーリングが学力定着になるとは思われないため、その限られた教材や教育資源の中で、より身になる学びや体験・経験を得ることの方が、最短で重要なことではないかと考えられる。
- ほぼ毎日スクーリング、校外学習も頻繁に実施し、参加生徒も年々増えて、既存の校外学習だけでは対応しきれないため、新しい校外学習を企画実施している状態であった。このようなことは、毎月の学園通信で保護者生徒に伝えられ、楽しさや教員との関係性の良さが生徒間で増していった結果と考える。次年度も新しい企画を立て、実施していく予定である。
- 登校が少ない生徒に関しては、必要に応じて適切な電話連絡ができている。
- 一人一人に手厚い指導ができたと考える。



..... [評価項目] 進路

具体的目標

- 生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。
- 進路における情報収集を図る。

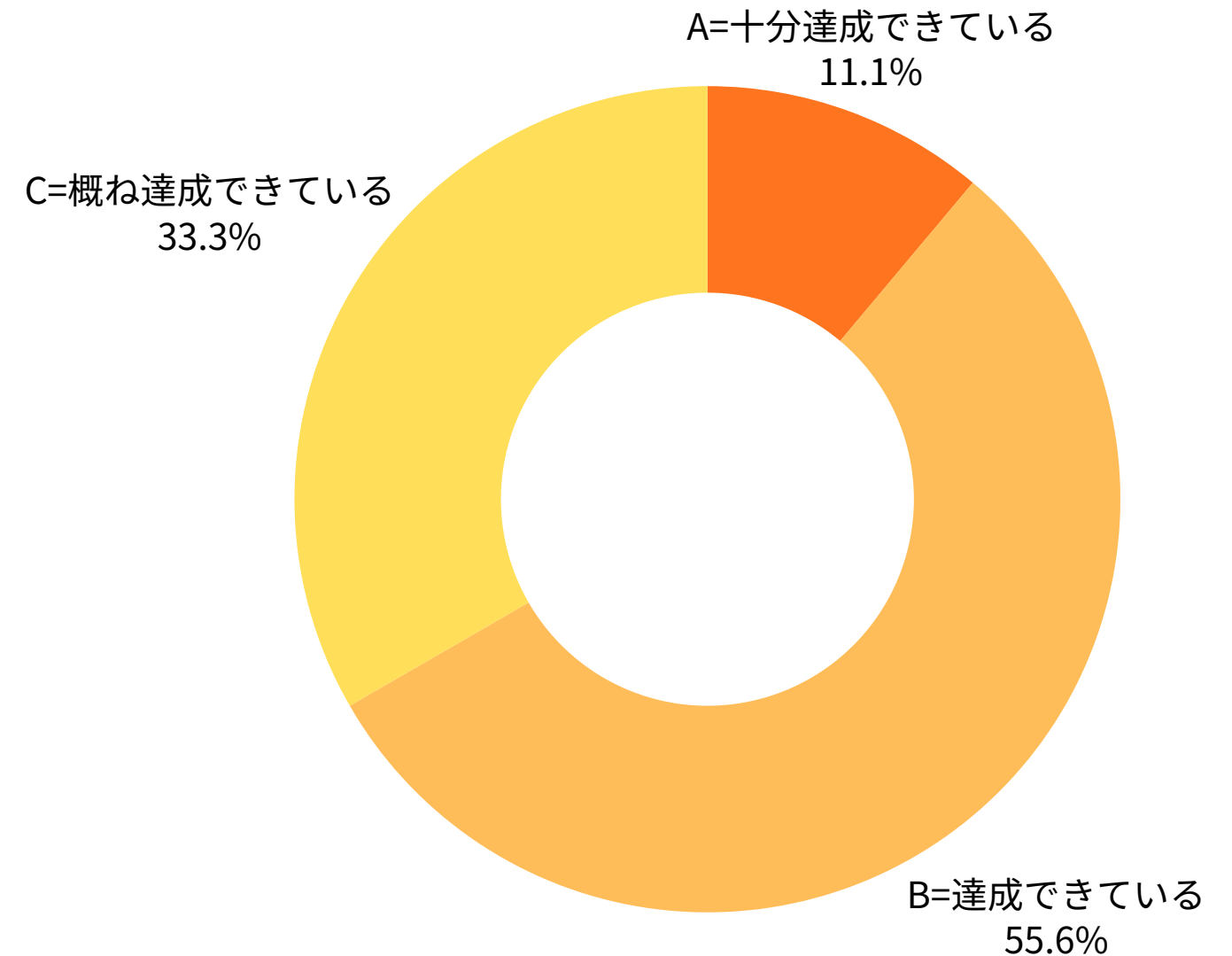
具体的方策

- 自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。
- 保護者との連携を深め、生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。
- 進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。
- 学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。
- 個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。

[評価項目] 進路

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- まずは学校に通えるようになることを目標にしている生徒が多いため、進路は安定して通学できるようになってからの指導がメインのように感じる。
- 進路情報を的確に提示し、個別対応も十分行えている。
- 適性検査を活用したり、総合的な探究の時間で進路について考える時間をつくったりするなど、自分の進路に対して向き合う機会を設けている。また、それらの機会を利用して進路指導を行い、生徒の希望進路につなげている。今後はさらに進路相談をしやすい環境づくり、職業観・進路観の育成方法の充実を図っていく。
- 進路ガイダンスや各種イベント、また関連冊子の配布などを行うと共に、生徒・保護者との面談を行いながら、進路についての意識を持たせ、実行することができている。
- 7月に個別相談（3年生）を実施、報告制を確立した。次年度も進路担当（3年生担当）がこのような機会を設け、外部のガイダンス参加も含めて進めて行くようにする。
- 3年生は進路指導の時間があるが、1・2年生においても進路について考える時間を設けたい。
- 進路実現に向けての前向きな声かけができていたと考える。



[評価項目]生活指導

具体的目標

- 学習する環境を整える。
- 公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。
- 思いやりのある心の育成を図る

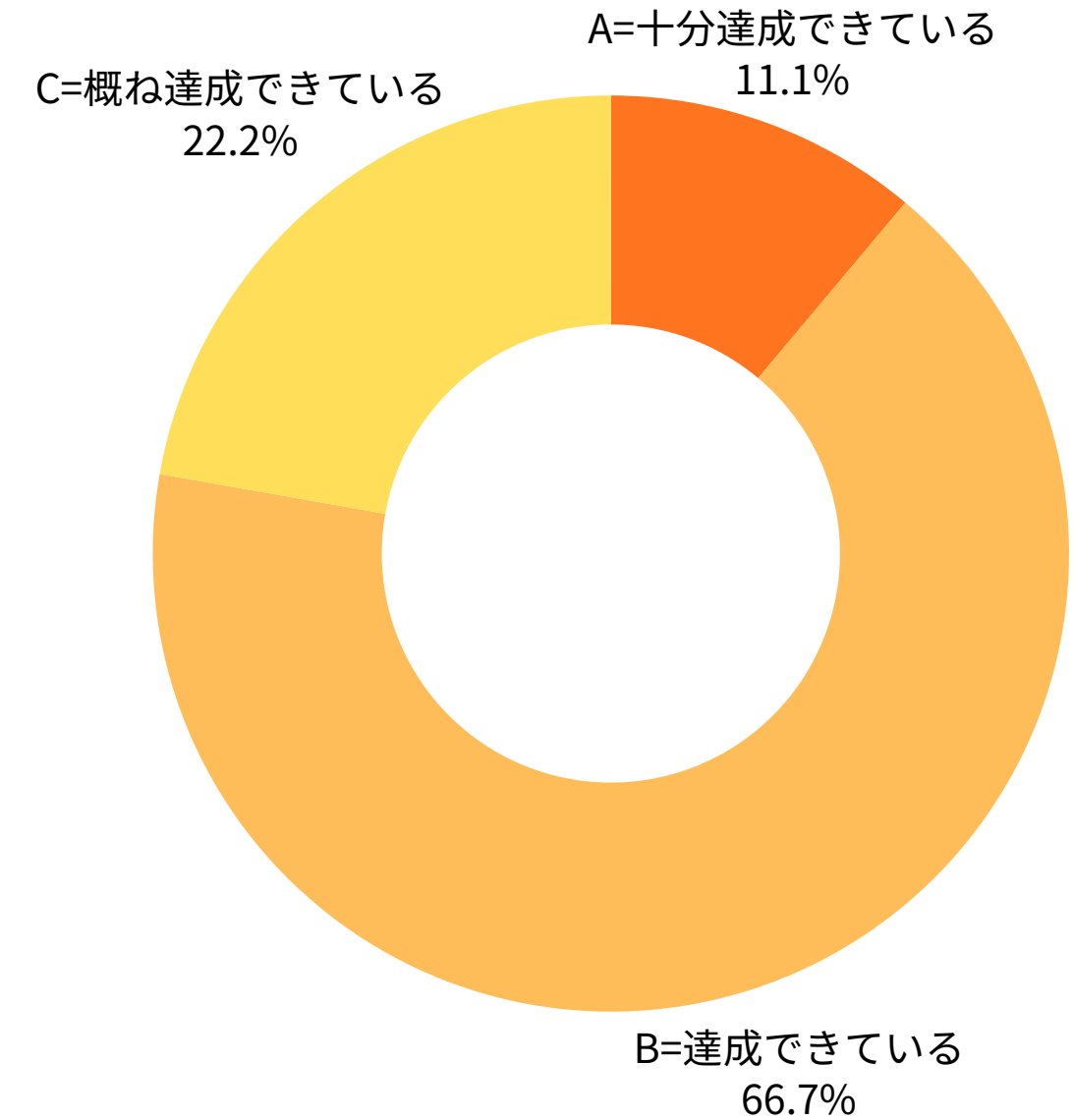
具体的方策

- 場をわきまえた行動がとれるように個々への指導を深めると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。
- スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。
- 人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようになる。

[評価項目]生活指導

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- それぞれの性格的な部分もあると思うが、場をわきまえた行動をとるよう指導されている。
- 時と場に応じた言動ができるように辛抱強く指導を行っている。
- 講習会や校外学習で外部の施設や公共の場で活動をすることで、一般的なルールやマナーを遵守することを学ばせる機会を設けてきた。次年度以降もモラル研修や校外学習等を通じて学ばせていきたい。
- 不登校や高校中退などの苦しい経験をした生徒が集っているからこそ、マナーを守り、他が不快になるようなことはしないという最低限のルールを守り、再度学校生活を楽しむ機会を提供できている。
- 事あるごとに全体や個人で指導した。
- 生徒指導は十分にできていた。
- 協調性を育む取組ができていたと考える。



..... [評価項目] いじめ対策

具体的目標

- いじめ対策防止基本方針の策定を行い、学校の基本方針を明確にする。
- 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。
- ネットにおける生徒の動向を把握し、情報モラルの指導を行う。
- 外部機関との連携を図る体制づくり

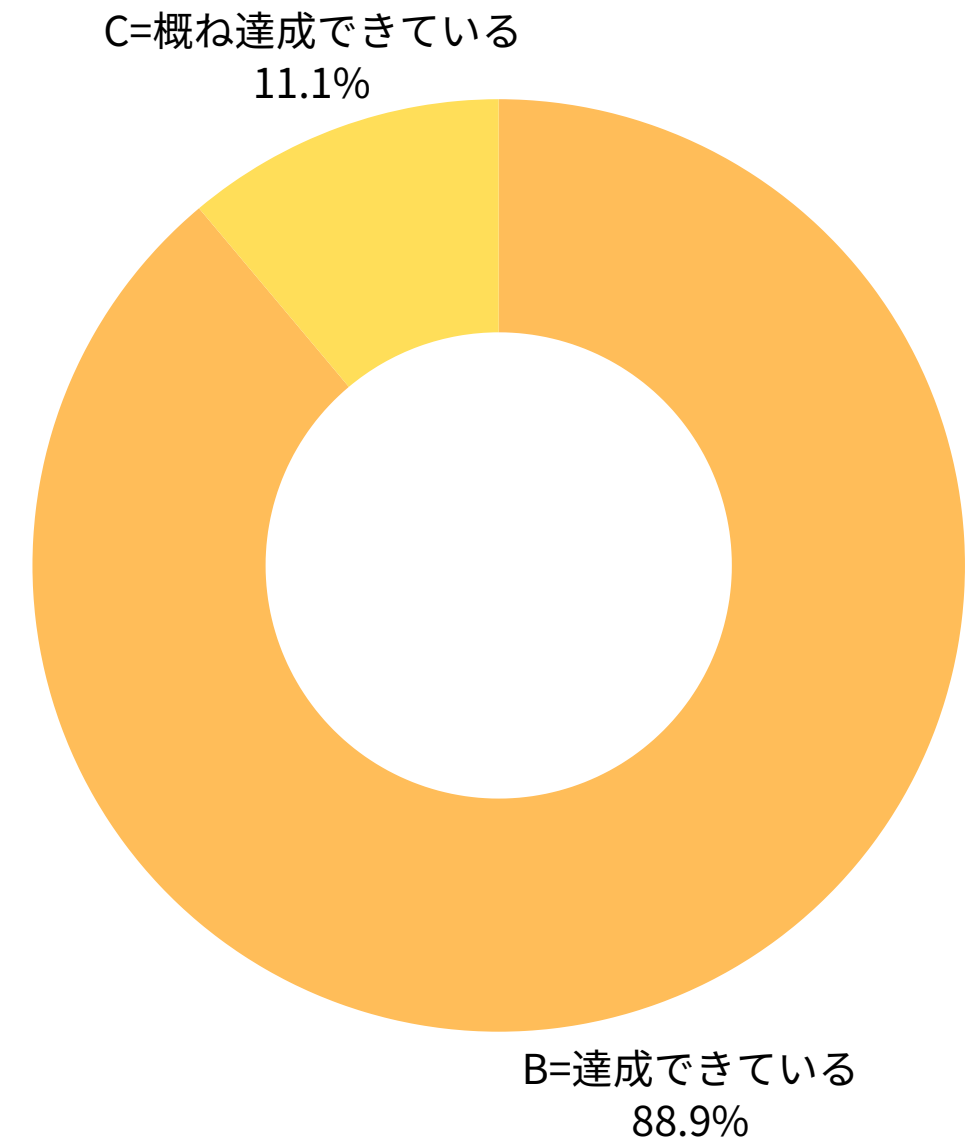
具体的方策

- 生徒同士が生き生きと、お互いの良さを認める雰囲気作りに努める。
- 生徒との信頼関係を構築し、生徒の心に寄り添った対応をする。
- 教職員の情報交換を密にし、生徒の理解に努める。
- インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。

[評価項目] いじめ対策

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒の意見をよく聞き、即座に対応されていると感じる。朝礼等で教員間の情報交換も密に行っている。インターネット等の対応に関しては不明。
- 情報モラル教室を開く等、関係機関とも連携できている。
- 生徒観察や教職員間の情報交換をこまめに行い、生徒の理解に努めている。SNS等の見えない部分にも気を配り、「いじめ」を未然に防ぐ対応をしていくことが今後の課題である。
- インターネットでのSNS投稿など、プライベートな枠で実態を把握しきれない部分も多く、いざそのような問題が起きた時の対策が見えないため、校舎内でできる情報モラル指導のみならず、各種機関との連携が必要であると思う。
- そのような案件は見受けられなかったのと、オリエンテーションでそのような話をし、予防に努めた。
- いじめに関わるようなことはなかった。
- 生徒間の関係性を良い距離感で把握できていたと考える。



[評価項目] 安全健康管理

具体的目標

- 心身の健康と自己管理能力の育成を図る。
- 教育相談の有効活用を図り生徒の悩みに対応できる体制作りを行う。

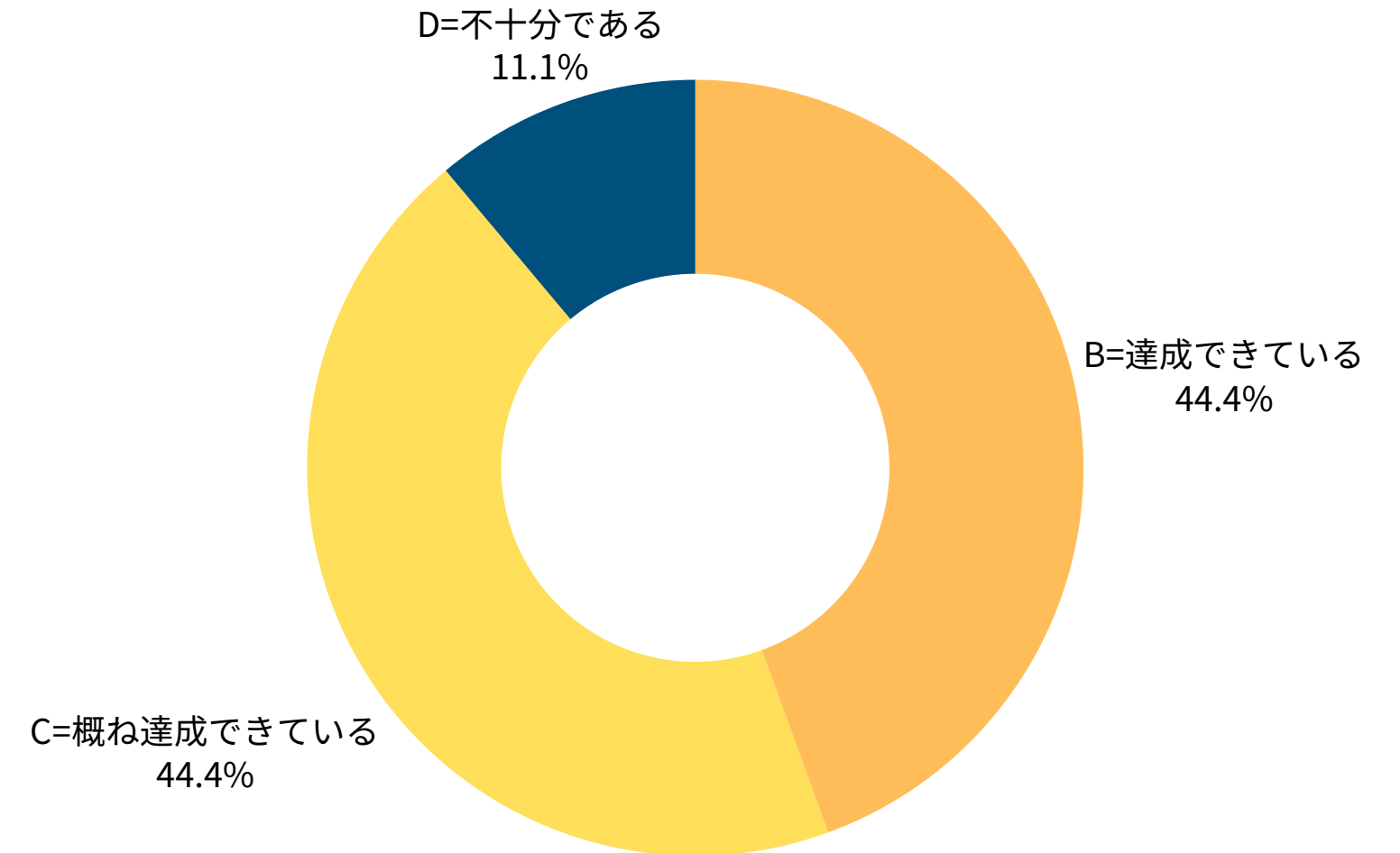
具体的方策

- 生徒の健康診断を実施し、個々の健康維持・安全衛生面について配慮していくことで、生徒が良好な学校生活が送れるように努める。
- 基本的な生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。
- 不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活を送れるよう信頼関係の構築に努める。
- 不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。
- 地域の関連機関との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。
- 生徒の健全育成を図るため、社会のルールを守るよう指導する。

[評価項目]安全健康管理

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 年度ごとの健康診断を義務付けており、健康に学べるよう努めている。ビルに校舎があることもあり、ビル全体で緊急時のガイダンスなどを行っている。
- ポスター掲示等で注意喚起し、健康的な生活が送れるよう指導している。
- 健康診断を実施し健康維持に配慮した環境づくりを行っている。通信制という特殊な環境なため、生活習慣が崩れる生徒もいるが、日々の声掛けや指導を行うことで基本的な生活習慣の確立を図っている。
- 地域の関連機関との連携が薄いため、医療・福祉などを中心とした専門家のサポートがより必要であると感じる。
- ビルの1室で女性の先生が多いので、不審者などの防犯に関する対策をお願いしたい。
- 特に問題はなかった。
- 健康診断の促しを積極的にできていたと考える。



[評価項目] 生徒募集

具体的目標

- 生徒募集のための広報に努める。
- 地域との連携を深めながら
- 本校の教育目標を理解してもらう。

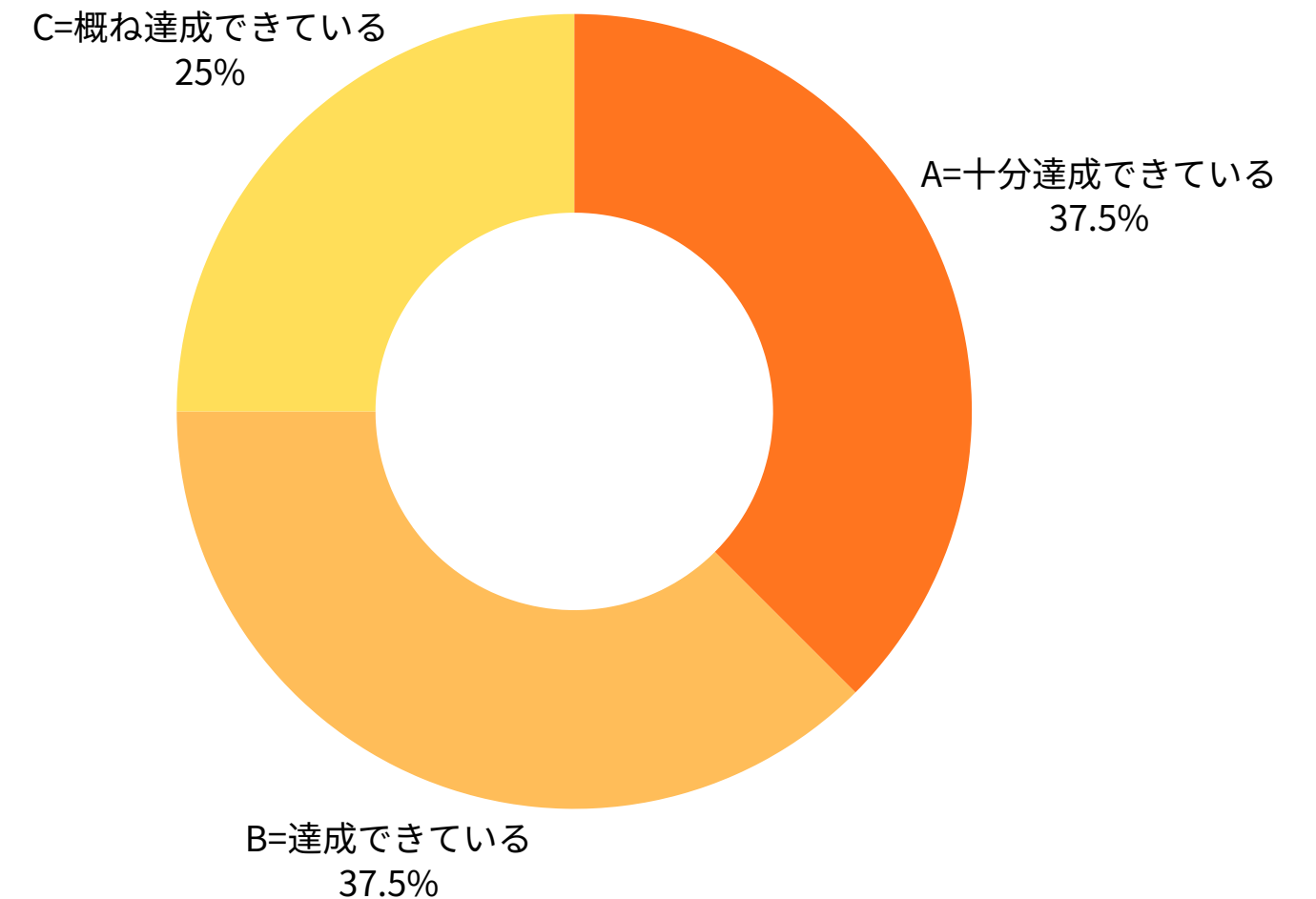
具体的方策

- 学校案内パンフレット、ホームページの内容を工夫・充実させる。
- 地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報に工夫・努力する。また、関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に努める。

[評価項目] 生徒募集

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 地域・他校との連携は密に行っているように思う。パンフレット等に関してはそれぞれのセンターの特徴や学習方法が掴みにくく、学校説明に使用する際少し不便に感じる部分がある。
- 各中学校へ訪問する等、本校の活動内容を理解されるように努めている。
- 近年、通信制高校への注目が高まっており、本校に対する問い合わせ・資料請求も多くきている。今後、学校訪問、相談者対応、LP等を活用した広報活動の更なる充実を図っていくことが課題である。
- 学校案内パンフレットやホームページについて、内容に大きな変化がなく、また中学からの不登校生や高校をやり直したいという転編入生が、高校生活に明るい未来を想起できるようなイメージとは異なる気が個人的にはしている。また全国にある校舎を集約した情報があってもいいのではないだろうか（スクーリングの実施頻度・教室雰囲気・校舎特長など）
- 入試説明会6回、外部相談会4回、中学校訪問などを実施。他に個別相談も随時実施し、生徒募集に努めた。
- 見学や資料請求のあった生徒に、入学につながる学校の魅力を伝えていく必要がある。
- SNSの更新に力を入れていたと考える。



..... [評価項目] 教科

具体的目標

- 個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践
- 教科の特性を生かした指導
- 担当教科との連携による生徒の指導と把握

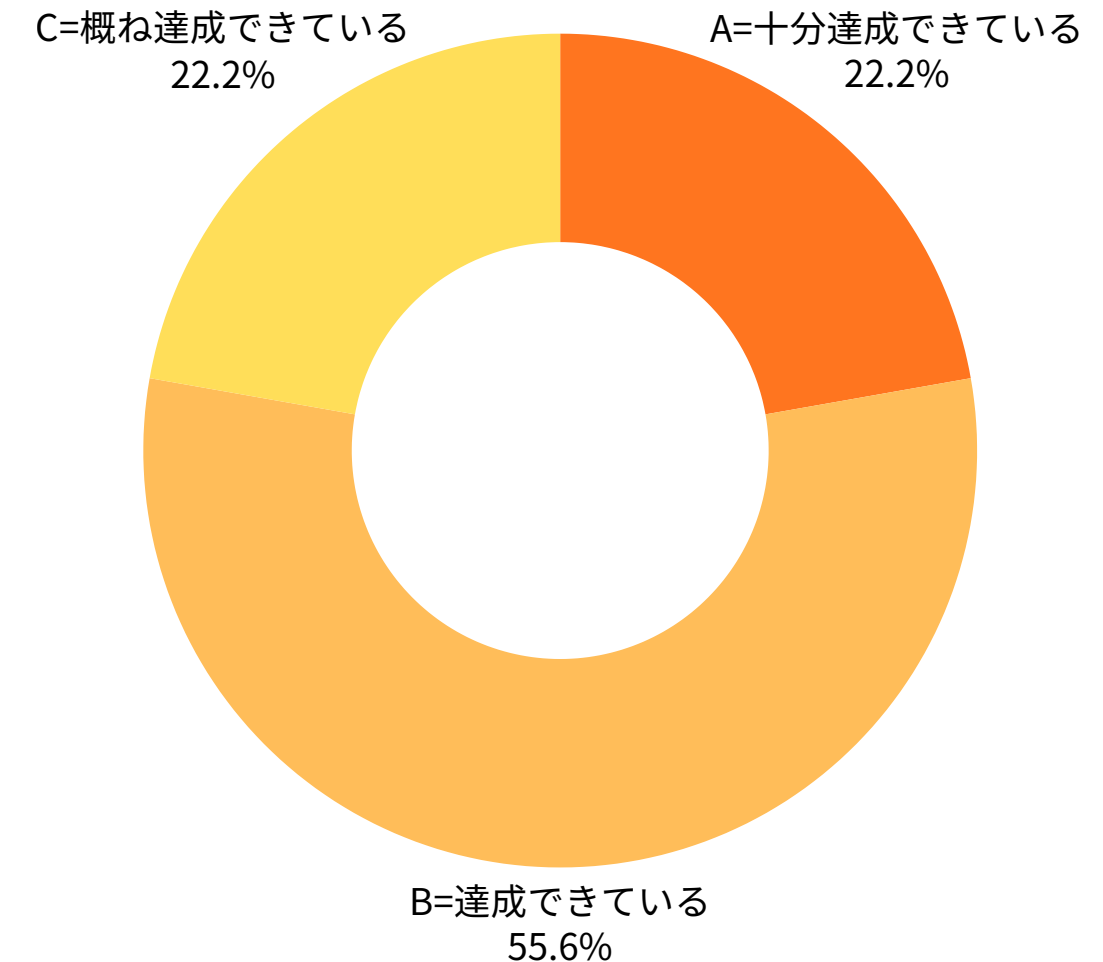
具体的方策

- 指導内容を振り返り、次のスクーリングに生かす。
- 基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。
- 生徒一人一人の能力・実態に合わせた教材の提供を行う。
- 基本的な生活習慣を身に付けさせ、計画的に学習させる。
- レポート指導や添削で生徒への理解をうながす。
- 生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を図り、進路の実現を図る。

[評価項目] 教科

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- A科目、B科目などの生徒の学びに合わせた区分分けはされている。また今年度から自学自習形式と集団指導形式にわかれ苦手な科目の説明が聞けるようになった。
- 各教科個に応じた指導ができています。
- レポートの添削や個別指導を充実させることで、個々の生徒に応じた教科指導を行っている。今後は新教育課程での教材内容を見直していき充実を図っていく。
- レポート指導や添削だけでは基礎学力の定着は難しいため、それ以外に生徒の学習意欲や学ぶ意義を理解させるコンテンツの作成や機会、工夫が必要である。
- スクーリングのみではなく、レポート指導の時間も取り、各教員がしっかりと個人対応に役立っていた。
- 一人でレポートを進めることが難しい生徒には、一緒に考えながらレポートを進めていた。今後も続けていきたい。
- 教科別によく取り組めていたと考える。



..... [評価項目] 1年生

具体的目標

- 基本的な生活習慣の確立と学習活動の定着化
- 学習環境作りの推進
- 多様な生徒への配慮

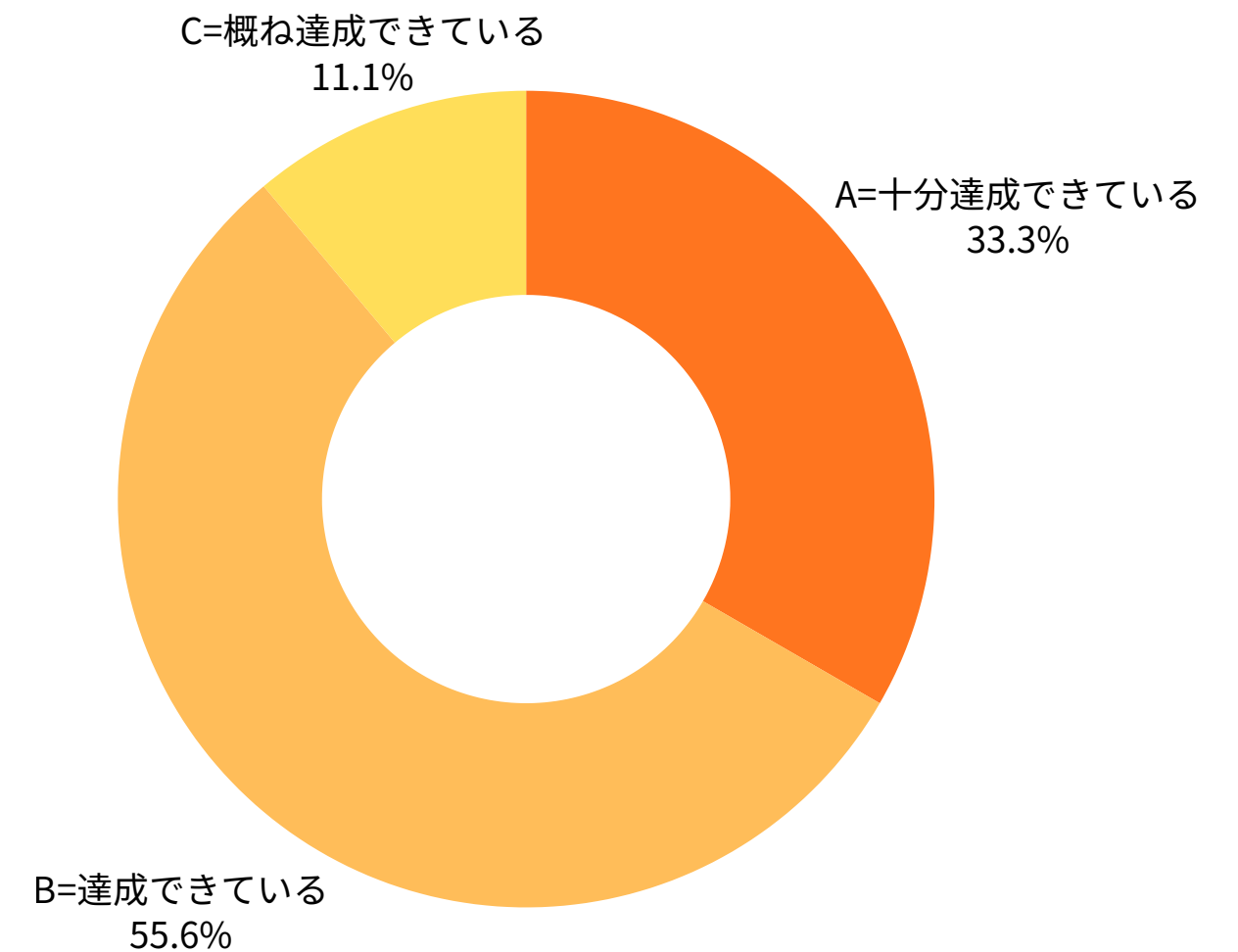
具体的方策

- 自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような環境作りを目指す。
- 通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。
- 場をわきまえた行動がとれるような学習の環境作りを施す。
- 体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。
- 生徒の様々な状況を把握し、各生徒に適切に対処できるように心がける。

[評価項目] 1年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 体験学習や学校行事への積極的な参加を促している。また履修相談時に進路についても聞き取りを行っている。
- 学校生活に早く慣れていけるように、気にかけて声掛けを行っている。
- 通信制高校での基本的な生活習慣の確立や学習の仕方を指導・育成していくことができている。
- 中学校とは異なる環境で、自己肯定感や居場所を見つけられた生徒が今後も多くなるようなコンテンツ作りが必要とされる。
- 担当教員が常に状況を把握し、進捗状況報告や個別相談を時には保護者を交えて実施、前向きに取り組めるような環境づくりに勤しんだ。
- オリエンテーションや個別で詳しく説明することで不安感を取り除けるようにしている。
- 学習意欲を高める雰囲気作りができたと考える。



..... [評価項目] 2年生

具体的目標

- 学習の習慣化の定着による学力の向上
- 進路意識の向上を目指す。
- 学校行事への積極的参加

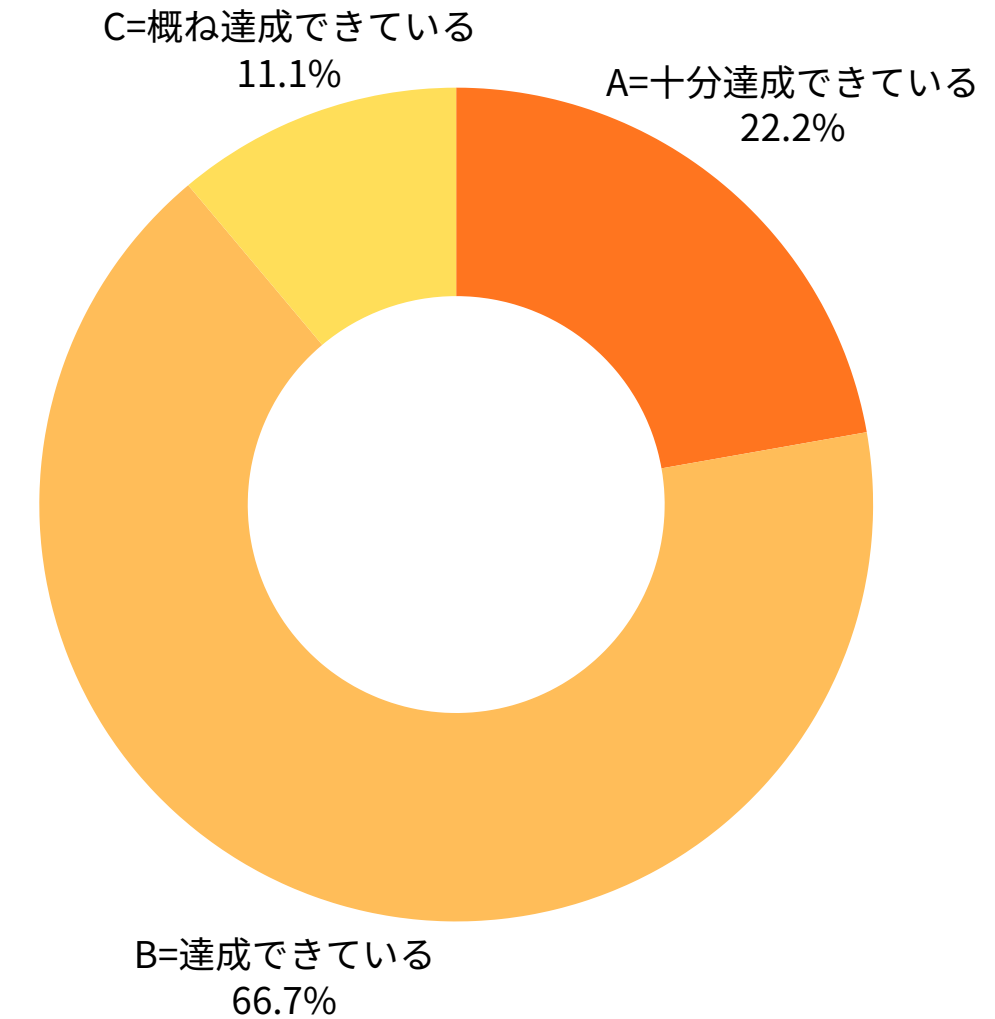
具体的方策

- 個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指し、学力の向上を図る。
- 悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応に心がける。
- 進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。
- 学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。

[評価項目] 2年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 1年次に学校行事の参加を促し、概ね生徒同士で会話することができているように感じる。また個人面談や履修登録などの時間で進路について考えるよう促している。
- 自己コントロールができるように指導している。
- 近年、早い時期から自身の進路に興味を持つ生徒が多いため、オープンキャンパスへの参加を促すなどの進路指導も行っている。また、気の緩む時期でもあるのでそこに注意し生活指導・学習指導を行っていくことが課題としてあげられる。
- 自分の適性に合った具体的な進路を見出すための機会や、また社会に出る一步前の訓練として必要なスキルを得る必要性を感じられる教育内容の充実が求められる。
- 担当教員が常に状況を把握し、進捗状況報告や個別相談を時には保護者を交えて実施、前向きに取り組めるような環境づくりに勤しんだ。
- 進路の話なども少しずつしながら、生徒一人ひとりの状況を理解しようとした。
- よくできていたと考える。



[評価項目] 3年生

具体的目標

- 単位取得の徹底と卒業への意識づけ
- 進路希望の実現
- スクーリングや校外学習への積極的な参加による学校生活における充実感の向上
- 学習意欲の持続・学力の向上
- 進路指導の充実

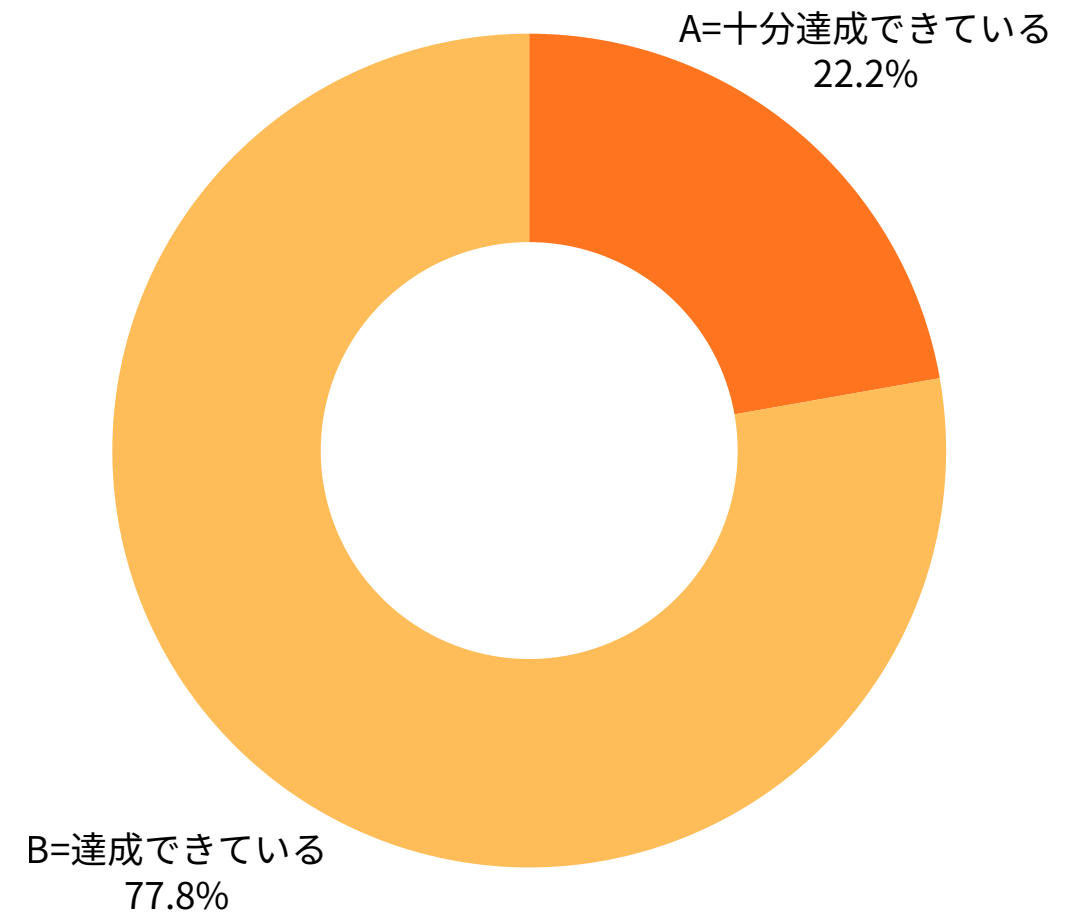
具体的方策

- スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高める。そのためにも、生徒や家庭との連絡を密にとり、三者の思いを共有する。
- 将来に向けての動機付けを行い、進路に対する意識を向上させる。
- 経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。
- 個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の卒業を確実に行う。
- 常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。

[評価項目] 3年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 早い段階でレポートやスクーリングを修了させ、進路に向けて動き出す時間がとれていると感じる。
- 個々の進路実現に向けて個別指導ができています。
- 最終学年としての学習指導や、進路が未定の生徒にはオープンキャンパスへの参加や進路冊子の閲覧を促すなどの進路指導を行っている。今後の継続課題として、卒業し社会人になることを意識させ、生活指導・学習指導を行っていくことがあげられる。
- 自分自身の進路について意欲と責任を持ち、何をどうすべきかを考える力や主体的な意識が育まれるような環境、社会とリンクする機会というのを増やしていきたい。
- 担当教員が常に状況を把握し、進捗状況報告や個別相談を時には保護者を交えて実施、前向きに取り組めるような環境づくりに勤しんだ。特に、進路指導においては顕著であった。
- 卒業に向けて早めの課題提出やスクーリングへの出席を促すことができていた。
- よくできていたと考える。



[評価項目] 事務関係

具体的目標

- 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- 関係機関との信頼関係の構築を図る。
- 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようにする。

具体的方策

- 学割や定期、願い届出等に対する処理を適切に行っていく。
- 関係機関との信頼関係を築きながら、必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布などを適切に行うようにする。
- 学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようにする。

[評価項目] 事務関係

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 事務や連絡等適切に行えていると感じる。
- 各センターからの依頼を的確に処理できている。
- 生徒数も増加しており、各学習センター、各部署の担当者がきちんと流れを把握し、迅速な対応が求められている。本校での発行・発送においても、できうる限り丁寧に対応することが課題である。
- アナログ(紙面)な部分が多く、作業が煩雑になり、マンパワーに頼らざるを得ないように思われるため、簡素化・効率化できる部分を整理して、Webやシステムなどを活用してできる仕組みはないかと考える。
- 迅速、かつ、正確に行われた。次年度より事務専任職員が常駐、さらに円滑に進むと思われる。
- 特に問題はなかった。
- R7年度は、これまで通常の支援金では所得制限となっていた世帯に臨時支援金が支給されたが、文部科学省の当初想定より認定時期が大幅に遅れ、制度が複雑で通信制高校の想定が十分にされていなかったことから、学習センターや保護者への説明が不十分だった点が多々あったと思う。R8年度には大幅な制度の改正により所得制限が完全に撤廃され、申請方法もこれまでとは大きく異なる為、混乱が生じないように、学習センターや保護者に対して丁寧な説明を心がけたい。
- LINEを有効活用することができた。
- 生徒・保護者や関係機関からの対応を迅速かつ適切に行うとともに、分かりやすい文書の作成や資料の配布を心掛けるようにする。

